

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



立派な医師を志す

【令和2年度 臨床研修医】

【特集】

膀胱に直接注射するような時代がやってきた！
～ボトックス® 膀胱壁内注入療法～

- VOICE
- 医学シリーズ（耳鼻いんこう科）
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明



096-353-6565
096-353-6566

受付 平日 8:30～17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

FAX 096-353-6563

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード

膀胱に直接注射するような時代がやってきた！

～ボトックス® 膀胱壁内注入療法～

過活動膀胱では、急に尿意を感じて我慢できず何回もトイレに行く（尿意切迫感）、頻繁にトイレに行く（頻尿）、我慢できずに尿が漏れてしまう（切迫性尿失禁）といった症状が出現し、国内の調査では40歳以上12.4%（男性14.3%、女性10.8%）が過活動膀胱との診断を受けており、患者数は1000万人を超えられています。

過活動膀胱の治療として抗コリン薬やβ3アドレナリン受容体作動薬などの薬物療法がありますが、十分な効果が得られなかったり、口渇や便秘などの副作用のため内服継続出来ない場合があります。

このような難治性過活動膀胱に対して、2020年4月より「ボツリヌス毒素（ボトックス®）膀胱壁内注入療法」が保険適用となり、当院でも7月1日に第一例目の治療を行いました。

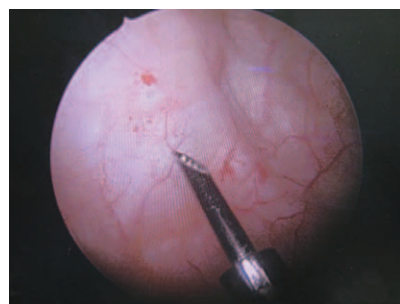
ボトックス®はボツリヌス菌が作り出すA型ボツリヌストキシンという天然のタンパク質を有効成分とする薬剤で、ボツリヌス菌を注射するわけではありませんので、ボツリヌス菌に感染する危険性はありません。様々な研究の結果からボトックス®を膀胱の排尿筋に直接注射することで筋緊張が緩和されて排尿症状が改善することが分かっています。

実際の手術では写真のように細い針を使って20ヶ所に分けて膀胱に注射を行います。手術時間は30分程度です。薬の効果は2～3日で現れ、通常4～8ヶ月持続します。時間が経つにつれて徐々に効果が消失していきますが、この場合、再度ボトックス®を投与することで同様の効果が現れます。

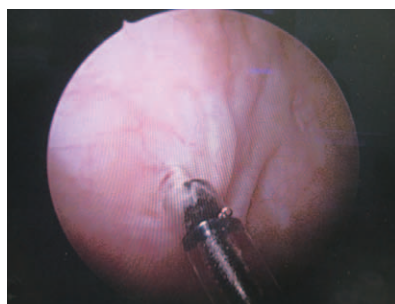
副作用としては尿路感染症、排尿困難、残尿量の増加、肉眼的血尿がありますので、治療後は排尿の状態を観察することが重要です。また治療後は薬液に触れた器具などの失活が必要になります。

現時点では患者さまの安全性を考慮して基本的に入院での治療を行っておりますが、今後は状況をみて外来での導入も検討する予定です。なお難治性神経因性膀胱にも適応が御座いますので、ご不明な点などにつきましては当院泌尿器科までご相談下さい。

泌尿器科
ちかうら けいた
近浦 慶太



ボトックス® 注入前



ボトックス® 注入中



実際の手術風景



高木クリニック
内科・消化器内科

院長 高木 研一



◆貴院のアピールをお願いします

この度、私が熊本大学第3内科へ入局した当時の医局長であった柴田淳治先生から令和2年3月21日にしばた内科胃腸科を引き継ぎ、その後の4月13日に高木クリニック 内科・消化器内科として開院いたしました。新型コロナウイルスが蔓延しており、予定していた内覧会を中止したりとイレギュラーなスタートでした。これからは地域のかかりつけ医として気軽に受診していただけるクリニックを目指して努力していきますので、よろしくお願いいたします。

◆先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

最近は全然行ってないのですが、海でのルアーフィッシング(基本的にはキャッチ&リリースです)が好きで、勤務医時代は年に3回ほど沖縄へ釣りに行っていました。時間などに余裕が出てきたらまた行きたいと思っています。



◆当院へのご要望をお聞かせ下さい

リニューアルオープンし間もない頃の話ですが、初診の患者さまが外来で吐血され、その時に貴院へ電話で相談したところ直ぐに受け入れのお返事をいただき非常に助かりました。これからも対応困難な患者さまをお願いすることがあると思いますので、その際はよろしく願いいたします。

【診療科目】

内科、消化器内科

【診療時間】

月、火、水、金、土
午前 9:00-12:30 午後 2:00-6:00

【休診日】

木曜、日曜、祝日

【住所】

〒861-8084 熊本市北区清水岩倉 1-1-11

【TEL】

096-344-3111

【FAX】

096-344-3113



最近のトピックス

慢性副鼻腔炎

～手術も内視鏡の時代へ～

国立病院機構熊本医療センター
耳鼻いんこう科部長うえむら
上村
なおき
尚樹

顔面骨には副鼻腔という空洞がいくつか存在します。ここに炎症が慢性的に持続しておこる疾患を慢性副鼻腔炎といいます。

症状は鼻づまり、後鼻漏（のどに膿の鼻水がおちること）、悪臭、嗅覚障害などです。

鼻腔ファイバー、鼻のレントゲン、CTを用いて副鼻腔炎と診断します。診断は難しくはありません。

治療はまず3か月間内服の治療を行います。これはマクロライド系抗菌薬を用います。これで改善なき場合は手術治療です。

当科では手術の必要な患者さまをメインに診察しています。手術はほぼ全例で鎮静下に局所麻酔で行います。手術時間は病変の進展具合にもよりますが、おおよその目安は2時間です。

最近では消化管の手術、婦人科手術も腹腔鏡手術が主流となっていますが、耳鼻咽喉科領域も例外ではありません。以前は（私が研修医の頃よりちょっと前の1990年頃までは）歯肉から切開して上顎骨を除去して上顎洞粘膜を摘出する上顎洞根本術が主として行われていました。しかし、この手術は術後顔面が腫れる、頬部が痺れる、などの後遺症があり、比較的侵襲の大きいものでした。その後内視鏡で行うESS（: Endoscopic sinus surgery）が開発され、現在では主流になってい

ます。この手術は鼻腔と副鼻腔との換気改善が目的です。すなわち鼻から内視鏡を挿入し（写真）、鼻腔と副鼻腔との境界を形成する骨の壁を取り去って、広く交通路を作成し換気をよくして消炎します（CT画像）。

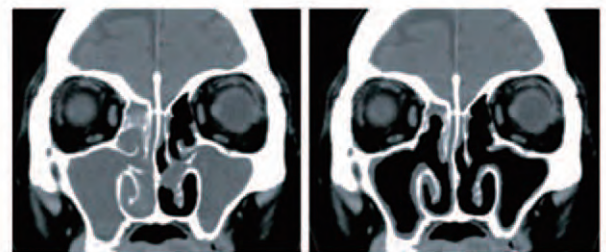
入院は4日前後です。術後は積極的に鼻洗浄を半年はしていただきます（これ非常に大事!）。術後に鼻洗浄を怠ると粘膜が癒着してせっかく開けた副鼻腔が狭くなることがあります。

手術の危険性ですが、眼に近いこと、脳に近いことを考慮しますと主なものは、

- ①複視：眼窩内に手術操作が及んでいることに気付かず内直筋を損傷して起こる。これが一番多い
- ②髄液漏：頭蓋底骨を誤って穿破し、さらに硬膜を穿破してしまうことで起こる。髄膜炎を来すと命に関わる。
- ③出血：蝶形骨洞の手術の際に誤って内頸動脈を損傷してしまう。
- ④失明：蝶形洞手術の際に誤って視神経を損傷して起こる。

しかし内視鏡のカメラの性能もこの数年で格段に良くなり（4K）、当科ではこのような副損傷は幸い経験しておりません。またESSでは根本術でみられた顔面の腫脹や頬部の知覚鈍麻は一切起こりません。

最近では日帰りでこの手術を行っているクリニックもあります。詳しくはWebで!!



手術の前

手術の後



手術風景：患者さまの鼻内に内視鏡挿入し、手術を行う。



手術風景：モニター（右）でみながら安全に手術していく。左のモニターはNavigation。

6/9 (火) | タブレット端末を導入しました **事**

【筆者】庶務班長：有馬 義弘

会議資料には、多くの紙が使用されており、環境に配慮する意味からも数年前からペーパーレス化が検討課題となっていました。今般、タブレット端末を導入し幹部会議等で会議資料のデータをタブレット端末に取り込み画面を閲覧する形の運用を開始しました。これにより、紙資料印刷のコストと配布コストの削減、カラー資料の提供、動画の閲覧、会議進行の効率化に繋がっています。

【場所】会議室



7/7 (火) | 令和2年度 第1回開放型病院協議会開催報告 **事**

【筆者】管理課長：出良 和之

令和2年7月7日(火)、当院会議室において、令和2年度第1回開放型病院協議会が開催されました。当協議会には、外部委員として熊本市医師会から園田 寛会長(委員長)、田中英一副会長、家村昭日朗理事、緒方一朗理事にご出席を賜り、開放型病院の運営の円滑化についてご意見を賜りました。

議事は、事務局から開放型病院の利用状況報告として、登録医状況、開放型病院共同指導実績、当院広報誌「くまびょうNEWS」発行状況の順に報告が行われました。

また、令和2年度第1回開放型病院連絡会の開催について審議頂き、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を講じ、発熱などの体調不良者の参加を制限することで開催のご承認を頂きました。

つきましては、令和2年9月7日(月)午後7時からホテル日航熊本5階天草、阿蘇の間に於いて、開放型病院連絡会を総会と意見交換会に分けて開催いたします。ご参加の皆様には、感染防止のためにご協力頂くことがございますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

開放型病院連絡会では、地域の医療機関の皆様と意見交換を行い、益々の医療連携強化に繋がりたいと考えております。多数の医療機関の皆様のご来場を賜りますようご案内申し上げますのでよろしくお願いたします。

【場所】会議室



令和2年度 第1回 開放型病院連絡会のご案内

日時：令和2年9月7日(月) 午後7時～9時

場所：ホテル日航熊本(5階 天草の間・阿蘇の間)

— 内容 —

(1) 開放型病院連絡会総会(5階 天草の間)

1) 症例の提示

2) 地域医療連携室からのお知らせ

地域医療連携室長

菊川 浩明

3) 紹介予約センターからのお知らせ

地域医療連携副室長

富高 悦司

(2) 意見交換会(5階 阿蘇の間)

【連絡先】国立病院機構熊本医療センター管理課

電話 096-353-6501 内線 5690(出良・有馬)

研修医レポート

臨床研修医

鳥巢 美貴
とりす みぎ



こんにちは。研修医1年目の鳥巢美貴と申します。九州大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただいています。

私は外科で研修をスタートしました。始まってからの2ヶ月間は、初めての人、機材、薬品、経験ばかりであっという間に過ぎてしまいましたが、振り返ってみると、右往左往しながらもとても充実した日々を送らせていただいたと感じています。指導医の先生を始め先生方や看護師の方々、スタッフの皆様が、困ったときはもちろん、困ってい

るだろうと察してくださって助けてくださることもあり、感謝の思いでいっぱいです。

手術では、癌の手術から大学では見ることのなかった腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下虫垂切除術などの緊急手術まで幅広く見させていただきました。それぞれの疾患について、画像で見えているものが実際にどのように見えるのか、考えながら手術を見るのが面白かったです。

また、内科的側面として術前術後管理は「まねてこなす」ではなく「まねぶ」ことができるよう意識して研修して参りました。ひとつひとつの先生の指示の裏にどのような根拠があるのか未熟ながらも勉強させていただきました。しかし、まだまだ全身管理まで程遠いので、これからの研修でさらに学んでいきたいと思っております。

患者さまの声に耳を傾けていると、そのなかで人生の先輩として色々とお話を聞かせてくださることがありました。これから医師としてだけでなく、人間としても成長していきたいと感じた場面でした。まだまだ学ぶことがたくさんです。これから様々な科を回って研修して参ります。ご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、たくさんの方々に支えられていることに感謝をして、日々精進していく所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

臨床研修医

上村 直道
うえむら なおみち



こんにちは。研修医1年目の上村直道と申します。久留米大学を卒業し、4月より熊本医療センターで初期臨床研修をさせていただいています。始めて2ヶ月ほど経ちますが慣れない環境の中、先生方やスタッフの皆様を支えられながら日々頑張っています。

私は4月に麻酔科から研修が始まりました。業務に関して最初はほとんど何もできない状態からのスタートで大変苦労しましたが、先生方へ手取り足取り教えていただき、とても充実した研修ができています。麻酔科は手技が多く、

ルート確保、マスク換気、気管挿管や脊髄くも膜下麻酔など数多く経験させていただきました。うまくできないことも多々ありましたが、経験していくうちに徐々にできるようになってきたと思います。しかしそれは自分一人の力だけで成長したわけではありません。例えば気管挿管するときも、補助をしていただける周りの看護師さんがいて、きちんとコミュニケーションを取らなければ上手く挿管することができませんでした。また、上手くできなかったときは後々に先生からフィードバックを受け次に繋げることもありました。一緒に麻酔科で研修している同期と話し合うことでコツを知ることもありました。周囲の人がいるおかげで自分は成長出来ているのだと日々実感しております。

現在コロナウイルスの影響で人と集まることも難しく、また外出するのもはばかれる状態で窮屈に感じることもありますが、しっかりとオンオフの切り替えを行ってさらに充実した研修の日々を過ごしていきたいと思っております。研修が始まってまだ2ヶ月でわからないことがたくさんあり、ご迷惑をおかけすると思っておりますが、一つ一つ成長し、より良い医師に近づけるように精一杯頑張りたいと思っておりますので、更なるご指導のほどよろしくお願致します。

臨床研修医

坂田 宗一郎
さかた そういちろう



こんにちは。研修医1年目の坂田宗一郎と申します。長崎大学医学部を卒業し、4月より熊本医療センターにて初期臨床研修をさせていただいています。始めてまだ2か月で、慣れてはおりませんが、先生方やスタッフの皆様のおかげでなんとか頑張っています。日々ご迷惑をおかけしております。

私は4月から血液内科からスタートしました。最初はカルテの使い方もオーダーの仕方もわからず、手技もできず、ご迷惑ばかりかけておりました。指導医の先生をはじめ、多くの先生方に様々なことを教えていただきながら、大変ながらも充実した研修生活を送っております。

血液内科では造血幹細胞移植等もあって非常に血球数の低下が激しく、感染等の事象も多くあり、そういった管理の面もたくさん学ぶことができました。最初はその数値が衝撃的でそんなに減っていくものなのかと驚いた記憶があります。また、PICCのような手技的な面も多く体験させていただきました。最初はよくわからないまま手技を終っていたような覚えがありますが、先生方のご指導もあって、1か月経つ頃にはかなり上達したのではと思います。ですが、まだまだ病棟業務など慣れないことも多々あり、ご迷惑をおかけしている毎日でございます。1日でも早く慣れるために一つ一つ覚えて次は確実に記憶できるように頑張っているところです。

また、現在の世界情勢もあって、病院の事情も大変だとは思っています。そのような大変な中、支えてくださる先生方、スタッフのみなさんにはいくら感謝しても足りません。根気強く丁寧に日ごろから教えていただきありがとうございます。これからもご迷惑をおかけするかと思いますが、一人前の医師になるために日々精進して参りますので、今後ともよろしくお願致します。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2020
8月

研修日程表

研修日程表への問い合わせはこちら
 国立病院機構熊本医療センター
 地域医療研修センター（096）353-3515（直通）

研修センター
 QRコード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ（<https://kumamoto.hosp.go.jp>）をご参照ください。

8月	研修センターホール	研 修 室
1日（土）		
2日（日）		
3日（月）		
4日（火）		
5日（水）		
6日（木）		
7日（金）		
8日（土）		
9日（日）		
10日（月）		
11日（火）		
12日（水）		
13日（木）		
14日（金）		
15日（土）		
16日（日）		
17日（月）		19：00～20：30 第258回 月曜会（内科症例検討会）（研修室2） [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定] 1「腫瘍内科からの一例」 2「腎臓内科からの一例」
18日（火）		
19日（水）	14：00～15：30 第89回 市民公開講座 「めざせコロナ博士！」 国立病院機構熊本医療センター感染症内科部長 小野 宏	
20日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
21日（金）		
22日（土）		
23日（日）	8：30～13：15 第29回 熊本PEECコース	
24日（月）		
25日（火）		
26日（水）	18：30～20：00 第176回 救急症例検討会 「小児科救急疾患」	
27日（木）	8：15～8：45 二の丸モーニングセミナー	
28日（金）		
29日（土）		9：00～17：00 第102回 救急蘇生法講座 ～二の丸ICLSコース～ ※会場 新館6階スキルアップラボセンター
30日（日）		
31日（月）		

※新型コロナウイルスの影響で予定が変更になる場合がございます。
 最新の情報につきましては、ホームページでご確認をお願い致します。

患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話 **096-353-6693**

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8：30～17：00

熊本医療センター
 地域医療連携室副室長

とみたか えつし
 富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565
096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

令和2年8月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎
	血液	河北 敏郎 平野 太一	原田 奈穂子 三井 土和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 小野 恵子(午前再診)	小野 恵子(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 小林 由佳(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前のみ) 小野 宏 (午前紹介のみ)原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏	(午前のみ)小野 宏		(午前のみ)小野 宏
	腎センター (腎臓内科)	梶原 健吾	伊達 亮佑 (富田 正郎)	中村 朋文	松永英士	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 三井 土和	境 健爾 榮 達智
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 上野 茂紀	杉 和洋 中田 成紀 東 哲生	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 東 哲生	上野 茂紀 中田 成紀 馬見塚 大悟
	内視鏡	午前 中田 志茂田(東)	松山 馬見塚	松山 上野	中田 馬見塚 志茂田	石井 東(志茂田)
	午後	東 志茂田 馬見塚(中田)	石井 松山 志茂田 馬見塚	中田 東 上野(松山)	中田 上野 馬見塚(石井)	石井 松山 志茂田
腹部超音波	杉 東 馬見塚	石井 上野 志茂田	中田 東 馬見塚	石井 上野(志茂田)	杉 松山 志茂田	
心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 日下 裕章(新患)	田山 信至 大塚 康弘(隔週新患) 野津原 淳(隔週新患)	日下 裕章 松原 純一(新患)	大塚 康弘 野津原 淳 藤本 和輝(新患)	松原 純一 田山 信至(新患)
	(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実
精神・神経科	初めの方	山下 建昭	神野 哲平	担当医	大潮 一太	山下 建昭
	2回目からの方	担当医	山下 建昭		山下 建昭	橋本 聡
小児科	診察	水上 智之 永芳 真理子	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 永芳 真理子
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科		小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 竜生
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 宮崎 愛里
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	午前	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博	手術日	福元 哲也 前田 智 福田 和昭	手術日	前田 智 中馬 東彦
	午後	福元 哲也 福田 和昭 平井 泰博		前田 智 満瀬 葉介		中馬 東彦 宮崎 誠大
泌尿器科		前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 山中 達郎	菊川 浩明 矢野 大輔
産婦人科		高木 みか	熊大医師 山本 文子	山本 文子	高木 みか 山本 直	熊大医師 山本 直
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂	(手術日)	榮木 大輔 木山 優 中西 美穂
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	担当医	上村 尚樹 竹本 梨紗
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛充	牧野 公治	小林 温子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	城野 剛充 小林 温子	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 小林 温子	城野 剛充 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科		(午後) 大島 秀男 (リンパ浮腫外来) 東野 哲志 前山 徹	(午後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、浅尾 千秋、伊藤 加奈子、根岸 孝典、柏木 寧、幸村 紘子				
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		(午前のみ) 田中 健一 (麻酔相談)		(午前のみ) 森永 真矢 (麻酔相談)	
緩和ケア外来	磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆	
歯科 口腔外科		中島 健、谷口 広祐、早川 真奈、中尾 美文			中川 文雄	中川 文雄
救命救急センター		原田 正公、北田 真己、櫻井 聖大、渋沢 崇行、清水 千華子 山田 周、橋本 聡、深水 浩之、松尾 悠史				
				木村 文彦		宮内 大介
看護外来	ストーマ		認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	がん看護	専門看護師(午前)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
薬剤師外来	移植後フォローアップ	専門看護師 他	専門看護師	専門看護師 他	専門看護師 他	専門看護師
	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。 R2/8/1